

- 2面 協会表彰51名を講べる
創立50周年記念講演会 俳優・気象予報士 石原 良純氏
「造園建設業の紹介動画」完成 幅広い造園領域を働き手のインタビューなど交えて紹介
- 3面 創立50周年交流会を開催 多数のご来賓、会員が参加し大盛況に
【学会の目・眼・芽】都市緑化北海道フェア開催のその後
(公社)日本造園学会監事 北海道大学大学院農学研究院・准教授 愛甲 哲也
- 4面 【ふるさと自慢】山梨を1泊2日でご案内 フルーツや食、物産を堪能
山梨県支部 佐々木夏芽 (株)富士グリーンテック)
【緑滴】御朱印の旅 和歌山県支部 林 佳子 (紀北造園土木株)

6月23日開催の令和5年度通常総会並びに創立50周年記念講演・交流会には、皆様お忙しいなか、多数ご出席をいただきまして誠にありがとうございました。お陰様をもちまして無事に終えることができました。厚く御礼申し上げます。

令和5年度 通常総会を開催

創立50周年記念行事も実施



総会の冒頭あいさつする和田新也会長

日造協は6月23日(金)、東京都千代田区半蔵門のホテルグランドアーク半蔵門で、令和5年度通常総会を開催した。総会では議事に先立ち、国土交通省からの情報提供をはじめ、各種表彰(2面)を行った。議事では、令和4年度決算報告、役員候補欠選任の2議案を承認。総会ではこのほか、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、収支予算の報告事項、委員会の活動報告を行った。また、新型コロナウイルス感染防止のため延期していた創立50周年記念行事を実施。俳優・気象予報士の石原良純氏をお迎えした記念講演会、多数のご来賓をお迎えしての交流会を開催した。(2面)

総会は冒頭、和田新也会長があいさつ(別掲)に次いで、伊藤康行国土交通省公園緑地・景観課長は、「造園技術の向上と造園建設業の健全な発展を図るため、50有余年にわたり活動されてきたことに関し、改めて敬意を表する次第です。人と自然が共生する安心、安全な国土と都市づくり、健康で豊かな心を育む緑の景観、環境の実現に向けて、一層ご活躍されますことをご期待いたしております。また、本表彰を受けられる皆様に心よりお祝い申し上げます。誠にありがとうございます。また、平素より国土交通行政、とりわけ公園緑地・景観行政の推進にご理解とご協力をいただき、御礼を申し上げます。新型コロナウイルス感染症が5類となり、社会情勢も落ち着いてまいりました。この間、身近なみどりのオープンスペースである公園緑地はその価値が再認識されるとともに、社会経済状況の大きな変化を踏まえた新たな役割への対応が求められています。本年は都市公園制度の始まりとされる太政官布達から150周年という公園緑地行政にとって節目の年です。これまでの都市公園を振り返りながら、そのストック効果を最大限に発揮させる取り組みを一層推進していきたいと考えています」と祝辞を述べ、引き続き国土交通省からの情報提供として「公園緑地行政をめぐる話題」と題し、令和5年度当初予算のポイントとして、国営公園等の整備推進、防災・減災まちづくりの更なる推進、カーボンニュートラルの推進、官民連携の強化等による公園

整備・管理運営の推進、2027年国際園芸博覧会に向けた取り組みを紹介した。

国営公園等事業については、地域活性化や観光振興をより一層推進するため、歴史文化資産や自然環境を活かした魅力ある公園の整備・運営管理、安全・安心な地域づくりに寄与するため、防災拠点としての機能強化や長寿命化計画に基づく計画的な修繕を実施。震災の記憶や我が国の歴史・文化を後世に継承するため、閣議決定に基づき、明治記念大磯邸園や国営追悼・祈念施設、国立民族共生公園の整備等を推進する。

カーボンニュートラルの推進については、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、グリーンインフラの社会実装や再生可能エネルギー導入、CO2吸収源となる都市公園整備を進めるなど、脱炭素選考地域等において、都市公園整備をはじめとする公共空間の緑化、建築物の屋上緑化等の取り組みを推進し、新たな緑化空間の創出を図る。

官民連携の強化等による公園整備・管理運営の推進については、PPP/PFI推進アクションプランに基づく官民連携の強化を図り、2027年国際園芸博覧会に向けた取り組みについては、花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造に向け、開催準備を着実に進め、会場建設費の一部補助や日本国政府出展



伊藤康行課長

一般社団法人日本造園建設業協会 会長 和田 新也



「みどりの価値」に理解を得る努力と新たな要請に応え“厳況”を乗り換える

通常総会の開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙の中、国土交通省都市局公園緑地・景観課長の伊藤康行様におかれましては、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

日頃から、私どもの協会が多様なご協力、ご指導を賜っておりますことをこの場をお借りして御礼申し上げます。また、会員の皆様方には、常々、日造協活動にご尽力いただいておりますことを心から感謝申し上げます。

現在造園業界は、次世代に持続可能な社会を継承するため、CO₂吸収源となる樹木を主体とする都市公園の整備や緑地の保全、激甚化・頻発化する大規模自然災害に備えた防災・減災対策、さらには、将来の業界の発展に向けて、働き方改革、担い手の育成・確保など、様々な課題への対応を迫られています。

また、令和9年には、我が国で2度目のA1クラスの国際園芸博覧会が横浜で開催されます。

造園建設業の発展を図る上で、全国組織として日造協が果たしてきた役割を再認識し、造園建設業の活動領域の維持・拡大に日造協会員が一致団結して取り組み、我々が社会に提供してきた「みどりの価値」を広く国民に理解していただく努力を続ける必要があります。

時代の新たな要請に的確に応えていくことで、この厳しい状況を乗り越えていかなければなりません。会員の皆様により一層のご支援、ご協力をお

願い申し上げます。

また、日造協活動の強化に向け、会員拡大への取組みを進めておりますが、この3年間で、新たな仲間として31社の正会員を迎えることができました。

これもひとえに各総支部・支部はじめ関係の皆様のご努力の賜物と感謝申し上げます。

日造協は、令和3年11月に創立50周年を迎えたところです。昨年度に総会の開催に併せて、記念の交流会を予定していたところですが、新型コロナウイルスの感染防止のため、今年度の実施となりました。また、記念講演会では石原良純様をお迎えし、ご講演をいただくことになっております。皆様のご参加をお願い致します。

本日は、令和4年度決算報告及び役員候補欠選任の審議、令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、その他報告を行う予定です。

それに先立ちまして、造園建設業界の発展等に多大な功績をあげられた51名の方々に表彰させていただきます。受賞されます皆様、誠にありがとうございます。これまでの永年にわたるご労苦とご功績に対しまして敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

本日は、長時間にわたりますが、何卒よろしく願い申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。

(通常総会会長挨拶より)

の検討を進めるとした。

その後、造園建設功労賞、業績表彰、勤続精励表彰として、51名の方々に表彰状の授与を行った。(2面参照)

議事では「令和4年度決算報告」「役員候補欠選任」の2議案を審議・承認。令和4年度事業報告、令和5年度事業計画、収支予算の報告、委員会活動の報告として、造園領域発展戦略委員会がこのほど作成した造園建設業の紹介動画の説明を行ったほか、全国都市緑化仙台フェアの報告を東北総支部の古積昇支部長、

人事異動

【国土交通省人事】

(6月1日)
大臣官房付 = 井村久行(神奈川県県土整備局大規模公園担当部長(兼)環境農政局都市緑地担当部長)
大臣官房付・即日辞職5月31日付<神奈川県県土整備局大規模公園担当部長(兼)環境農政局都市緑地担当部長>=

石出慎一郎事務局長が、来年の春と秋に開催するかわさきフェアについて、小酒井淑乃川崎市建設緑政局緑化フェア推進室担当部長が開催に向けてのPRを行った。

総会は最後に、新入会員のうち会場に集まった7社の代表者が登壇、抱負を述べ、閉会となった。

また、会場では閉会後に賛助会員のPR映像の放映とともに、ロビーで製品やサービスを紹介、引き続き同会場で50周年記念特別講演、会場を移して、50周年記念交流会を行った。(詳細2面)

戸田克稔(国立研究開発法人建築研究所住宅・都市研究グループ首席研究員) 辞職5月31日付<国立研究開発法人建築研究所住宅・都市研究グループ首席研究員> = 高橋克茂(大臣官房付)

【本部事務局人事】

(6月30日)退職 = 柄本徳満(事務局長兼総務部長)
(7月1日)総務部長 = 樋口学(採用)

協会表彰 51 名を讃える

令和5年度の協会表彰は、造園建設功労賞12名、業績表彰28名、勤続精励表彰11名の51名の方々が受賞し、和田会長より表彰状と記念品が手渡された。

造園建設功労賞

(12名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	遠藤登志子	83	(株)遠藤
関東・甲信	埼玉	内田 香	74	(株)内田緑化興業
〃	東京	田丸敬三	53	東光園緑化(株)
〃	長野	坂戸広三	65	(株)園建
北陸	富山	伊藤志朗	58	(株)飛鳥ガーデン
中部	岐阜	稲垣和美	62	(株)庭萬

総支部	支部	氏名	年齢	所属
近畿	福井	中村潤一	60	(株)しばなか
〃	兵庫	入谷芳郎	56	入谷緑化土木(株)
四国	高知	中尾 正	61	高知緑化建設(株)
九州	佐賀	鳥越澄男	73	(株)武雄緑化センター
〃	宮崎	坂元正和	65	(有)坂元芳翠園
本部	宮城	古積 昇	54	古積造園土木(株)



勤続精励表彰

(11名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
関東・甲信	神奈川	加藤正次	59	(株)東開造園土木
〃	山梨	中山昇午	57	(株)富士グリーンテック
北陸	新潟	山田政仁	55	(株)新潟造園土木
近畿	滋賀	川崎 満	50	(株)川下造園
〃	京都	伊藤秀樹	52	樋口造園(株)
〃	奈良	植田弘伸	45	檀原造園

総支部	支部	氏名	年齢	所属
中国	岡山	谷口健一郎	49	(株)小山庭苑
四国	香川	大西英之	61	森川ガーデン(株)
九州	福岡	鈴木康文	68	(株)小山千緑園
〃	熊本	馬場大雄	46	木上梅香園(株)
〃	鹿児島	池田広樹	47	(株)光林緑化



業績表彰

(28名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	吉田英司	56	(株)ヨシダ造園緑化
東北	秋田	菅原竜太	46	(有)玉尾造園土木
関東・甲信	茨城	小野恭一	49	土浦造園(株)
〃	群馬	小曾根栄一	55	熊倉造園土木(株)
〃	埼玉	山口武夫	59	(有)山口造園
〃	埼玉	岩崎雅樹	52	アート緑化土木(株)
〃	埼玉	小林勇次郎	51	並木造園(株)
〃	千葉	川口龍司	59	京葉ガーデン(株)
〃	千葉	森田 亮	51	(株)森田植物園
〃	千葉	川西正人	50	川西造園土木(株)
〃	東京	市川泰正	64	(株)岩城
〃	東京	菅原浩人	45	大森造園建設(株)
〃	東京	石井匡志	45	アゴラ造園(株)
〃	神奈川	青木洋一	61	奈良造園土木(株)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
関東・甲信	山梨	角野 勝	45	(株)明桃園
北陸	石川	廣野拓雄	72	(有)清廣園緑化
中国	愛知	中嶋和敏	54	(株)中嶋造園土木
〃	三重	薄井美弥	64	(有)ウス井樹園
近畿	京都	余座正剛	55	村岸造園(株)
〃	大阪	長尾行晃	54	東光園緑化(株)関西支店
〃	和歌山	的場盛州	47	(株)松風園
中国	広島	葉名康弘	57	(株)エネギ&L&Bパートナーズ
〃	広島	福永英樹	54	(株)こうこく
四国	高知	西森 保	54	(株)佐々木造園
九州	福岡	三宮 洋	57	三宮造園(株)
〃	長崎	山本一太	46	(株)山本造園土木
〃	大分	川内里子	45	(株)九環緑地建設
〃	鹿児島	有村浩二	53	鹿児島くみあい開発(株)



創立 50 周年記念講演会

「空を見よう」

俳優・気象予報士
石原 良純 氏



講演する石原良純氏

創立 50 周年記念講演会は、総会の後 16 時半から行われ、俳優・気象予報士の石原良純氏から、お話をいただいた。

大学生の時、叔父・石原裕次郎が入院。裕次郎の甥っ子がいるということで、声を掛けられ、深く考えずに楽しそうだと俳優の世界に入った。

ちょっとお話ししたいのはエネルギーの話で、父・慎太郎がガンで余命3カ月と言われ、亡くなる2カ月前、スタッフさんには休んでいただこうと兄弟で父の家に交代で泊まり、「良純、もう寝る」と行ったかと思えば、起きてきて「原稿を書く、秘書を呼べ」という。今日は大みそかなだし…と言うと、父は激高し、さすが文学者という切れ味のいい言葉で、そこまで言うかと思うことをいう。何なんだこの人は、凄いと思った。

父が亡くなり、兄が出張だったため、斎場から自宅に父を迎え入れ、妻と今日のお父さん静かねと話していたが、その夜、雷鳴が響き目が覚め、そこで分かった。父のエネルギーが溢れて漏電。人間が生きてくことはエネルギーを出し続けることなんだと。

エネルギーを出すには溜めなければならぬが、父はそれをずっとやっていた。

先日、大阪で8千人を前に番組で覚えることになったトロンボーンを吹き、翌朝4時起きで6時から生放送を2時間やって、10時にゴルフをしたが元気だった。大阪で「頑張って〜」とエネルギーをもらっていたからだと思った。

今日のテーマは、「空を見よう」ということだが残り5分。気象予報士の森田正光さんと番組で一緒に、僕は逗子で育ち、海と山には雲が湧くのに自分の家の上には雲は湧かないと話したら、今度気象予報士制度ができ、その勉強をするとその理由がわかるとおっしゃったので、気象学の第一章には、「太陽系に地球という惑星があり、大気と水がある…」と、地上からの話だと思ったら、そこから始まる。楽しく勉強させてもらって、テレビのプロデューサーさんが、石原さんは空の話を楽しそうにすると、「空を見よう」という番組を持たせてもらった。

海辺の空は大きく、都心の空は小さいかもしれないが、空が一番身近な大自然で、どこにでもある。四季がありいろいろな姿を見せてくれるのが日本の空で、私たちの心を癒してくれる。

皆さんも空を見上げてみてはいかがでしょうか。

「造園建設業の紹介動画」完成

幅広い造園領域を働き手のインタビューなど交えて紹介



造園領域発展戦略委員会（戦略立案部会）では、日造協の創立 50 周年記念事業の一環として、造園建設業への理解促進と認知度向上、また仕事の幅広さと面白さを広く一般の方々に知っていただくための「造園建設業の紹介動画」を制作し、6月に完成した。

◆制作の目的

造園建設業に興味のある学生や施主・顧客となる造園建設業に接点を持つ方々に、造園業の仕事の領域の幅広さや面白さを知っていただき、入職促進を図りつつ、業界を盛り上げるために制作した。

◆内容

通常版(約19分)とショートバージョン(約3分)の2つがあり、ショートバージョンはインタビューを中心としたダイジェストで、通常版は以下の構成となっている。

①幅広い造園の領域の紹介

(プロローグ、造園の仕事の領域、SDGs)



②実際の施工現場の紹介と働く方のインタビュー
(公園の施工管理、伝統技術、若手の育成、街路樹剪定、公園の管理・指定管理者制度・P-PFI)



③新たな領域

(持続可能な社会、木質チップボイラー、グリーンインフラ、災害復旧、海外の日本庭園)



④日造協の活動紹介

(各種資格制度、全国造園フェスティバル、全国造園デザインコンクール)



◆活用について

動画は、ホームページから自由に視聴・ダウンロードが可能で、就職説明会、会社説明会、インターンシップ、出前講座や、造園フェスティバルなど多くの人が集まるイベントで放映していただくとともに、自社のホームページやSNSでもリンクを張って周知していただきたい。

また、女性活躍推進部会が取りまとめた冊子「造園建設業の仕事入門」や「これからの考えるロールモデル」なども併せて活用いただくと効果的である。



◆動画のリンク

日造協のホームページ(トップページ)に掲載 (<http://www.jalc.or.jp/index.php>)





創立50周年交流会を開催

多数のご来賓、会員が参加し大盛況に

今村 雅弘 会長 足立 敏之 副会長 五十嵐 康之 審議員 奥田 直久 局長

創立50周年交流会であいさつする和田新也会長

日造協は6月23日、令和5年度通常総会に引き続き、東京都千代田区のホテルグランドアーク半蔵門で、創立50周年交流会を開催し、多数のご来賓の方々をはじめ、会員ら230名が参加し盛大に行われた。

交流会は冒頭、和田新也会長があいさつ。次いで、ご来賓を代表し、今村雅弘



和田 新也 会長



乾杯のようす

房審議員、奥田直久環境省自然環境局長からご祝辞をいただき、「都市にはまだまだ緑が少ない。これからもっと緑を増やして心豊かな国になるよう頑張っていきたい。予算獲得にもしっかりと取り組んでいく」「昨年、国営吉野ヶ里歴史公園を訪ね、話題になっている石棺のエリアをこれから整備するとのことで楽しみにしている。防災減災なども含め、皆さんのお力添えをいただくことは多い」「今年度は都市公園制度制定150周年で、日造協の創立50周年など節目の年。仙台、川崎のフェアの先に2027年の国際園芸博もあり、世界の皆さん楽しんでいただけるよう各種事業に取り組んでいきたい」「生物多様性について、国家戦略を世界に先駆けて作り直し、国交省との連携も進め、保護と利用の好循環、面的な改善を図っていく」など、今後の展望、会員への期待の言葉をいただいた。また、限られた時間のためあいさつをいただけなかった国会議員、官公庁、関係



有路 信 会長 田丸 敬三 副会長

団体など、50名を超えるご来賓の方々のお名前のご紹介の後、有路信（一財）日本造園修景協会会長が乾杯、祝宴となった。

50周年交流会は、令和4年度の開催を予定していたものの新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期。コロナ禍で多数が集まるのが懸念が相次ぎ中止、延期され、3年ぶりの開催となり、会場は大いに賑わい、交流が行われ、最後に田丸敬三副会長が閉会のことばを述べ、大盛況のうち、散会した。

学会の目・眼・芽 第135回

都市緑化北海道フェア開催のその後

(公社)日本造園学会監事 北海道大学大学院農学研究院・准教授 愛甲 哲也

2021年12月の日造協ニュース573号に、全国都市緑化フェアの恵庭市での開催について書かせていただきました。日本造園建設業協会をはじめとした関係者のみなさまのご尽力もあり、都市緑化北海道フェア（ガーデンフェスタ北海道2022）は多くの来場者を得て、大きなトラブルもなく、盛況に終えました。開会1週間前に開催した日本造園学会全国大会にも多くのご参加とご協力をいただき、感謝申し

上げます。

◆
ガーデンフェスタ北海道2022の成果は、当初目標の30万人を超えて30日間にメイン会場に約34万人、協賛会場には約64万人の来場者がありました。来場者数のみではなく、約59億円と試算された北海道内への経済波及効果にもあらわれました。

アンケート調査では、8割以上の方が自宅での庭の手入れ・花づくりへの関心が高まり、5割以上の方が地域や町内会、公園や街路での花や緑のボランティア活動への関心が高まったと回答しました。

来場者数の計測と推計、来場者のアンケート調査、それらにもとづく経済波及効果の分析は、私どもの研究室がお手伝いいたしました。来場者数の計測では、従来の調査員による計測と、赤外線カウンター、LiDARなどの最新機器を組み合わせた推計に取り組みました。

◆
今回のフェアの特徴は、市民、町内会、学校等の参加・協力です。58名の市民によるサポーターズクラブは、イベントやガイドツアーに企画段階から取組

恵庭市長 原田 裕 様



ガーデンフェスタその後事業の実施について

提言書



令和4年12月15日

ガーデンフェスタその後検討懇談会

みました。

駅からメイン会場までの沿道は、小学校児童が描いたフラッグと中学校生徒が製作したプランターで彩られました。町内会による沿道の花壇、数々のオープンガーデン、商店街のガーデンギャラリーからなる「まちなか会場」にも多くの人が訪れ、恵庭市民が長年にわたり取り組んできた花とみどりの文化が全国に発信されました。

これで満足するのではなく、この成果をいかにこれからの取組に活かしていくかが必要です。

◆
30日間のフェアが終わると、さみしさを感じる余裕もなく、10月から3回にわたり「ガーデンフェスタその後検討懇談会」が設けられ、フェアに

関わった関係者と恵庭市職員で、提言をまとめ、市長にお渡ししました。

花のまちづくりの拠点がある、市民が花と緑に親しんでいる、市民に花のまちを目指すことが浸透している、花と緑に詳しい人がいる、ボランティア活動が活発という目標をかかげました。

メイン会場の活用、記念プレートの設置、記念日（都市緑化祭の開催された7月13日）の制定、市民ボランティアによる植栽活動、「花とくらし展」の継続、次世代の学びの場づくりなどの取り組みが進められます。

花と緑のまちづくりを支える市民と産官学の連携も、今回のフェアで再認識しました。都市緑化フェアを一過性のイベントとして終わらせず、つなげていきたいと思います。

パッカー車専門店

- ◆ 塵芥車 点検・整備
- ◆ 塵芥車 レンタカー
- ◆ 塵芥車 新車・中古車 販売
- ◆ 塵芥車 買取り

【ホームページ】

有限会社 井野口自動車整備工場
〒374-0042 群馬県館林市近藤町 779
TEL: 0276-73-1270 FAX: 0276-73-1401
URL: <http://inoguchi-cmf.co.jp/>
E-mail: inoguchi.info@gmail.com

【塵芥車レンタカー】

建設業界の皆様へ

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主
- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方
- 掛金は
日額 320円

国が作った退職金制度、建退共には加入しませんか

福祉の増進と企業の振興のための退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与

建退共の掛金が
電子申請で
納付可能になりました。

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号(ニッセイ池袋ビル)
TEL 03-6731-2866(ダイヤルイン) FAX 03-6731-2895

建退共 検索

ふるさと自慢 山梨県 山梨を1泊2日でご案内 フルーツや食、物産を堪能



牧野富太郎歌碑

人口80万余、森林面積8割でありながら都心まで2時間弱、関東圏内を日帰りできる私のふるさと・山梨を今日は1泊2日の旅行で案内します。

季節は4月末、東京駅を特急で出発して富士山方面の分岐駅・大月で下車。この地域の養蚕業から生まれた「甲斐絹(かいき)」と呼ばれる生地は高密度で独特の光沢を放つ風合いで国産ネクタイの4割で使用されます。

レンタカーで富士山の麓へ一路、富士山の伏流水からなる湧泉群・忍野八海に到着。無色透明な

池底は自然の摂理そのままです。富士五湖畔をドライブしながら途中で日本一硬い麺で有名な「吉田のうどん」をほおばり、甲府方面を目指します。

峠を下ると甲府盆地一面に桃源郷のピンクの絨毯が広がってきました。果樹栽培の盛んな山梨では5月のさくらんぼを皮切りに、もも、すもも、ぶどう、桔露柿と品種も豊富です。

その日は旅の疲れを甲府湯村温泉で癒し、定番の甲州地鶏のもつ煮と山梨のブランド豚肉・甲州富士桜ポークのジューシーな食感を舌鼓を



④甲斐絹ネクタイ ⑤オーガニック食材 打ちました。

日が替わり、ノーベル賞受賞の大村智博士が館長の大村美術館や朝ドラ主人公の牧野富太郎博士が疎開居住した古民家がある韮崎市を中心に買い物。駅周辺は市内在住の若者が中心となってリノベを行い、歴史を刻んだ建物にはサスティナ



上から、貴陽(すもも) 川中島白桃(もも) シャインマスカット

ブル雑貨やオーガニック製品など地域ブランドが軒を並べウォークアブルな街となっています。

午後は隣接する北杜市で食べ歩き。清里高原美し森でレンゲツツジ等の春の彩と地元のさまざまな自家製料理や乳製品を堪能しながら帰路につきました。

皆さん、ぜひ日本のへそ・山梨で非日常を体験してください。お待ちしております。 山梨県支部 佐々木夏芽(株富士グリーンテック)

日造協 新入会員のご紹介 社名/住所 代表者/FAX (株)創研ガーデン 秋元 秀介 東京都中野区弥生町 4-1-14

社名/住所 代表者/FAX 三島造園(有) 三島 透 埼玉県行田市藤原町 2-11-10

日造協賛助会員の紹介 (株)アンドパッド 現場の効率化から経営改善まで一元管理

「ANDPAD」は現場の効率化から経営改善まで一元管理できるシェア No.1 クラウド型建設プロジェクト管理サービスです。2016年に提供を開始し、直感的で使いやすさにこだわった開発と導入・活用への徹底したサポートで、利用社数17.3万社、44.7万人以上の建設・建築関係者にご利用いただいております。

足、作業品質の担保、労働生産性の向上、粗利の確保など様々な課題に直面しながら各社事業運営をしていることと存じます。 近年、造園建設業の施工現場でも情報共有・写真整理をはじめとした事務作業の効率化等の観点から ANDPAD の活用が広がっております。



(株)アンドパッド 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 300 番地 住友不動産秋葉原駅前ビル 8 階 TEL:03-6831-4551

日造協賛助会員の紹介 (株)サイニチ 伐根作業をはじめ、現場の効率化に定める

弊社は1974年埼玉県三芳町に開業。「お客様とともに」そして「地域とともに」建設機械のレンタル・販売・修理を営んでまいりました。埼玉県を発祥とし、近年は東京都にも拠点を増やし活動しております。特に造園業界向けレンタルに力を入れ、首都圏を中心に造園業界様と密接な関係を構築しております。

業界のリーディングカンパニーであるアクティオグループの一員となり、グループとしてのスケールメリットもお客様に提供することが可能になりました。 2014年には造園業界様からの現場の声聞き、アクティオと共同開発した街路樹専用伐根機【根こそぎ切るソー】のレンタルを開始しました。

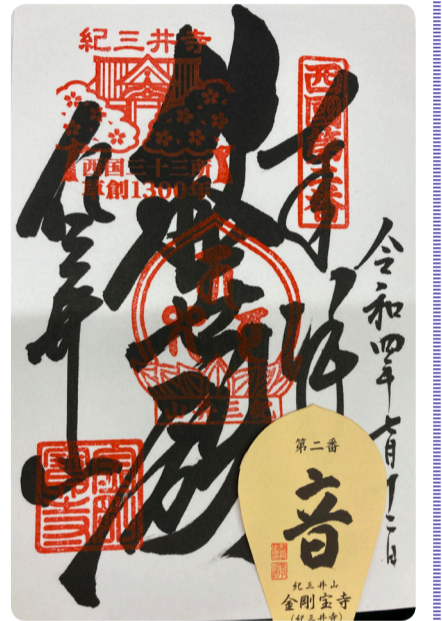
Table with specifications for the root-cutting machine, including wheel size, engine power, and weight.

子育てから少し解放され、自分の時間も使えるようになってきた最近の楽しみは御朱印をいただくことです。初めは何の知識もなくスタンパラリー的な要素を楽しんでいました。墨の黒と印の朱色とのコントラストのバランスが心地よく...

そんな時に西国三十三所観音霊場第二番の紀三井寺にお参りし、御朱印を書いていただいた住職の方のお話が、さらに私の心が奪われることになったのです。

「エンマ様がいたでしょう。手に持っているのが西国三十三所観音霊場の印です。全ての御朱印を持っていれば天国へ行けますよ。」何も知らなかった私は、「え！御朱印があれば天国へ行けるんですか？」と失礼ながら聞き返す程の食い付き。今までの人生、地獄に行きなさいと言われる悪行をしたことはないはずだが、天国への通行手

形となるなんて、なんと壮大な話ではないかと。 御朱印とは？を調べていた時こそ、心にゆ



とりが生まれた瞬間でした。

学生の頃は歴史に対してもあまり興味がなかった私ですが、今となればお寺の歴史を調べてからお参りするようになりました。なんて楽しいんだろうかと心はずませています。 好奇心あふれる御朱印の旅の始まりです。

- 事務局の動き [7月] 4(火)・広報活動部会 6(木)・運営会議 7(金)・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会) 10(月)・富山県立中央農業高校出前講座 11(火)・AIPH 横浜視察 14(金)・植栽基盤診断士認定委員会 18(火)・四国地方整備局と建専連との意見交換会 20(木)・登録造園基幹技能者講習委員会 24(月)・国際委員会 25(月)・安全部会 岐阜県立国際園芸アカデミー出前講座 27(木)・造園フェスティバル推進部会 31(月)・国土交通省と建専連との意見交換会 [8月] 1(火)・第18回若年者ものづくり競技大会 ~8/2

- 広報活動部会 6/6 日造協ニュース7月号~10月号について審議 ●技能五輪競技委員会(造園連) 6/7,6/20 技能五輪全国大会の競技委員の担当など打ち合わせ。競技課題について難易度や作業量の観点から検討 ●新規制度等部会 6/9 緑地樹木剪定士特例研修の追加開催分を報告。制度創設に向け、登録認定までの流れや認定証のレイアウト調整、試験問題を確認 ●地域リーダーズ 6/17~18 造園学会全国大会に合わせ、宮崎県支部会員が指定管理者のトレーニングセンターを見学、造園学会会員との交流、ミニフォーラム開催等を行う/6/22 歴代地域リーダーズ総支部代表者で今後の活動について意見交換、事例発表 ●街路樹剪定士認定委員会 6/28 今年度の開催計画、試験問題を確認 ●登録造園基幹技能者講習 試験委員会 6/30 今年度の開催計画、試験問題、テキストの改訂、事務規程の改定について審議

【造園用フルハーネスの購入方法】 造園の作業に適した「造園用フルハーネス」を会員特別価格でご購入希望の方は URL (http://shop.kousinen.com/) よりお申込ください。



編集後記 昨年より延期となっていた創立50周年記念行事が無事開催されました。総会後の記念交流会は久しぶりの対面ということで、あちらこちらで話が咲いていました。会場全体がいつもより明るく見えた気がします。